

ひろば

広場



上越市の子ども医療費助成の拡充を

塚田 次郎

上越市の子ども医療費助成の制度が、このところ進展がないようです。

業までは一部負担が必要ですが、入院は日に1200円、外来は日に530円で月4回まで。上越市は入院・外来ともに0歳から就学前までは全額補助が出ます。小学生から高校生

までは一定の負担が必要で

す。ところが隣の妙高市では、この負担がありません。高校生まで完全に無料が続きます。数年前からそうになりました。同じく糸魚川市でも高校生まで無料です。

かつては、上越圏内で先に上越市が子ども医療費助成の制度を作り、それを追う形で妙高市と糸魚川市が制度を作ってきました。しかし、最近はこの傾向がなくなり、妙高市と糸魚川市に先を越されたのです。

中川（幹太）市政の4年間で、制度の拡充はありませんでした。残念な思いで見えています。昨秋に新たに市長になられた小菅（淳一）さんはどうでしょうか。

本年度の予算編成では新市長のカラーはあまり出せなかったようですが、これからは小菅さんの思うようになります。次の予算編成に向けて、子ども医療費助成の進展についても議論を加速させてほしいと思います。（小児科医、上越市西城町1、69歳）